令和8年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立上平北小学校

上尾市立上平北小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

○**か**んがえる　○**み**とめ合う
○**き**たえ合う　○**た**かめ合う

学校課題研究

夢を語り未来を拓く小中一貫教育

～自ら考え主体的に学ぶ児童生徒の育成を通して～

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査	R８埼玉県学力・学習状況調査	R７ 上尾市立小・中学校学力調査
令和８年４月実施 ・国語科では、平均正答率は全国を下回る結果となり、情報の扱い方や自分の考えをまとめる記述力に課題がある。 ・算数科では平均正答率は全国を下回るが、データの活用に関する問題の正答率が高い。一方、変化と関係や、言葉で説明することに課題がある。	**令和８年５月実施** ・国語は高学年へ向けて着実に伸びる一方、算数は高学年で伸びが停滞する傾向がある。 ・県平均と比較して学力を伸ばした児童の割合が高くなっている。 ・高学年において「作業方略」や「柔軟的方略」など、学習上の工夫・方略を用いる姿勢に向上が見られる。	**令和７年１２月実施** ・国語科・算数科ともに、目標値と同程度か、下回る学年が多かった。 ・国語科では、「情報の扱い方」に関する問題の正答率が低い結果だった。 ・算数科において目標を下回る学年では、「知識・技能」に関する問題の正答率が低い結果だった。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①　読み、書き、計算等の基礎学力 ②既習事項と関連付けて、課題発見、課題解決を図る力	③資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力 ④筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・学習課題発見に向けた「必要感のある学習問題」の提示 ・課題発見または課題解決において、既習事項と関連付けたり、教科横断的な視点から考えたりする深い学びの実現 ・個に応じた指導の充実 ・授業の終末での適用問題の取組による基礎学力の定着	・国語、社会、算数、理科における「資料から読み取ったことをふまえて、自らの考えをもち、他者に伝える力を伸ばす学習活動」の充実 ・国語において、「自ら考え、表現したくなる単元のゴール」の設定 ・国語で培った思考力・表現力を「教科横断的に活用する」学習活動	・すべての教科・領域における「学習の振り返り」の充実 ・個の考えに合わせた学習方略を選択できる授業展開 ・学習方略や非認知能力を高めるための意図的な教師のフィードバック ・定期的に実施する学習の意欲に関する児童アンケートをもとにした分析と改善策の立案

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
・ゲストティーチャー等を活用した体験的学習の実施 ・自己効力感を高めるための PBS の実践 ・いちょう日課の設定（火、金曜日）	・ＰＴＡ、学校応援団、かみきたスマイル等を活用した学習環境の整備や体験活動の充実 ・さくら連絡網を活用した円滑な情報共有

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知 識 及 び 技 能 の 習 得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読み、書き、計算等の基礎学力 ②既習事項と関連付けて、課題発見、課題解決を図る力	③資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力 ④筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①言葉の特徴や使い方に関して理解する取組 ④感想や振り返りなど、自らの考えを書く活動を通して、表現力の向上を図る取組。	
算数	①、②	①加法・減法・乗法の習熟を目指した取組。 ②前時の復習や前時との違いから本時の課題を考えさせる取組。	
生活	④	④実践的な活動や体験を通して自分の考えを伝え合う取組。	
音楽	②	②既習内容を想起しながら、本時の音楽表現を楽しむ取組。	
図画工作	④	④友だちの作品を見たり、触ったりして気付いたことを交流し合う取組。	
体育	④	④さまざまな運動遊びの動き方を知り、友だちのよい動きを伝え合う取組。	
英語活動	④	④友だちや ALT と関わりながら活動する取組。	
特別の教科　道徳	⑤	⑤授業で扱う内容を自分のこととして振り返る取組。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読み、書き、計算等の基礎学力 ②既習事項と関連付けて、課題発見、課題解決を図る力	③資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力 ④筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①初め、中、終わり、事例の意図的な配列に着目して読む取組。 ④段落の要点を捉えさせたり段落相互の関係を捉えさせたりする活動を通して文章を要約する取組。	
社会	③、⑤	③写真や地図、グラフなどから、必要な情報を読み取る取組。 ⑤自らの学習計画を立てたり、課題解決の方法を振り返ったりする取組。	
算数	②、③	②問題場面を把握し、既習の学習内容や前時までの学習との違いなどから課題を立てる取組。 ③自力解決の時間を十分に取り、資料（図、表、グラフ等）から得られた情報を自分の言葉で説明する取組。	
理科	②	②予想を立て、学習問題や観察・実験の方法を話し合う取組。	
音楽	②	②発声練習やリコーダーの基礎練習等を既習事項を想起しながら、音色の心地よさを味わう取組。	
図画工作	④	④色や形の組み合わせ等、作品のよさについて交流し合う取組。	
体育	②	②既習事項と関連づけながら、新たな課題を見出したり、解決方法を選択したりする取組。	
外国語活動	④	④身の回りの物や自分のことを伝える取組。	
特別の教科　道徳	⑤	⑤授業で扱う内容について、人としてよりよく生きるために、どうすればよいか振り返る取組。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①読み、書き、計算等の基礎学力 ②既習事項と関連付けて、課題発見、課題解決を図る力	③資料（図、表、文章等）について、内容を正しく理解する力 ④筋道の通った文章を書くための文章の構成を考える力、表現する力	⑤学習方略や学習内容等、自らの学習を振り返る力 ⑥自己調整能力、非認知能力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④、⑤	①情景描写の変化、暗示的な表現、「はじめ」「中」「おわり」の構成、事例の適切さや表現の効果に着目して読む取組。 ④具体例を交えて、筋道の通った文章を書く取組。 ⑤単元のゴールに向けて自らの学習のペースを調整したり、粘り強く学習を進めたりする取組。	
社会	③	③地図、地球儀、統計、年表、新聞などから必要な情報を読み取る取組。	
算数	④、⑤	④自分の考えをまとめたり、説明したりする取組。 ⑤個に応じた練習問題・補充問題・発展問題を選択し、自らのペースに合わせて学習を行う取組。	
理科	④	④変化させる条件とさせない条件を考えさせながら実験や観察の方法について、筋道立てて表現する取組。	
音楽	④	④曲に合った演奏や鑑賞について、自らの考えを筋道立てて伝える取組。	
図画工作	④	④色や形、組み合わせ、心に思い浮かべたイメージについて、自らの考えを交流する取組。	
家庭	④	④実践的、体験的な学習活動を通して、学習方略について振り返る取組。	
体育	②	②既習事項と関連づけながら、新たな課題を見出したり、解決方法を選択したりする取組。	
外国語科	④	④日常生活の身近な場面について、自分の考えや気持ちを伝え合ったり、簡単な質疑応答をしたりする取組。	
特別の教科　道徳	⑤	⑤授業で扱う内容について、どのような心をもつべきか話し合う取組。	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○ いちょう日課の設定（火，金曜日）	・集中力の高い、午前中に５時間授業を行うことで、学習の効率化を図る。
○ 算数科における授業形態の工夫	・算数科では、ＴＴ指導、少人数指導を実施し、個に応じた指導の充実を図る。
○ ゲストティーチャーの活用	・総合的な学習の時間、社会科等でゲストティーチャーを積極的に活用し、体験的学習を行う。
○ 読書ボランティアによる読み聞かせ	・月曜日の業前活動を読書タイムとし、その時間に順番で読書ボランティアによる読み聞かせを行う。
○ 自己効力感を高めるためのPBSの実践	・児童の行動に着目し、承認・称賛することにより、望ましい行動ができる児童を育成する。
○ 道徳教育	・基本的なモラルの育成等、実践的な道徳の指導を充実させる。
○ 外国語に親しむための実践	・朝や昼の校内放送において、英語によるアナウンスや英語の歌を放送するなどして、外国語や異文化に慣れ親しむようにする。
○ 研修の充実	・校内の研修のみならず、上平中学校区内で互いの学校の研修に参加したり、合同研修会を実施したりするなど、計画的に充実した研修を実施する。
家庭教育との連携	
○ 体験活動の充実	・学校応援団、PTA、かみきたスマイル等を活用した体験活動の充実
○ 家庭学習の充実	・学年×１０分＋αの家庭学習時間を設定する。
○ 保護者への啓発	・学校だより、学年だより、ホームページ等で家庭学習の大切さについて周知する。
○ さくら連絡網の活用	・家庭との情報共有やコミュニケーションをスムーズに行うため、さくら連絡網を積極的に活用する。